

社会資本総合整備計画チェックシート【秋田県・秋田市】

チェック欄

<b>① 目標の妥当性</b>	
・上位計画との整合性	○
<p>県においては、「第2期ふるさと秋田元気創造プラン」（平成26～29年度）において、文化活動の拡充とにぎわい創出を図る新たな文化施設の整備を推進することとしていることから、上位計画との整合性は図られている。</p> <p>秋田市においては、第13次秋田市総合計画（平成28～32年度）において、「人と文化をはぐくむ誇れるまち」を将来都市像の一つに掲げるとともに、成長戦略を「芸術文化・スポーツ・観光による都市の魅力向上」とし、「芸術・文化によるまちおこし」を重点プログラムに位置づけている。</p> <p>本整備計画の核となる県・市連携文化施設については、この重点プログラムを踏まえて整備するものであり、「中心市街地活性化基本計画（平成29年3月24日認定）」にも位置づけていることから、上位計画との整合性は図られている。</p>	
・地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の適合性)	○
<p>本地区が位置する秋田市中心市街地については、中心市街地活性化基本計画（前計画）に基づき、活性化に向けたさまざまな事業を展開してきた。その結果、新たな人の流れの創出など一定の効果を発揮しているものの、事業効果は限られた区域にとどまっているなど、活性化は道半ばであり、引き続き多くの課題が残されている。</p> <p>このような状況を踏まえ、県・市連携文化施設整備事業を「中心市街地活性化基本計画（平成29年3月24日認定）」に位置づけ、当施設と周辺の既存文化施設との連携を図り、中心市街地から千秋公園に至る一帯を「芸術文化ゾーン」として、県民の活動環境を整え、日常的に芸術文化に触れ、集う空間として面的に充実させることで、中心市街地の一層の魅力向上と活性化を図る。</p>	
<b>② 整備計画の効果・効率性</b>	
・整備計画の目標と定量的指標の整合性	○
<p>県・市連携文化施設と周辺の既存文化施設の連携を図り、相乗効果を発揮することにより、増加した来街者が街を回遊することで、中心市街地全体のにぎわい創出が図られる。</p> <p>このため、「中心市街地活性化基本計画（平成29年3月24日認定）」の目標指標と整合を図り、来街者の増加によるにぎわいづくりの定量的指標として「歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）」および「芸術文化施設利用者数（1日あたり）」を設定した。</p>	
・定量的指標の明瞭性	○
<p>「中心市街地活性化基本計画（平成29年3月24日認定）」の目標指標と整合していることから、フォローアップが容易であり、県民にも分かりやすい指標となっている。</p>	
・目標と事業内容の整合性	○
<p>本事業により、中心市街地における新たな人の交流やにぎわいを創出する拠点施設が整備され、中心市街地の魅力向上と活性化が図られるものである。</p>	
・事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	○
<p>本事業により、県民の創造活動環境が整備され、日常的に人が集い憩う「芸術文化ゾーン」として面的に充実させる。芸術文化ゾーンにおいて、県民・民間事業者（商店街、民間企業、NPOなどの市民活動者等）と行政が連携することで、県民活動が活発化し中心市街地のにぎわい創出への波及効果も期待できる。</p>	
<b>③ 整備計画の実現可能性</b>	
・円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	○
<p>県・市連携文化施設については、平成25年度から4年間にわたり、整備構想、基本計画、整備方針、整備計画の策定と段階を踏んで検討を重ねてきている。</p> <p>また、その過程においても、県民、文化団体等との意見交換やパブリックコメントを実施しており、幅広い意見を取り入れながら計画の熟度を高めてきたため、当施設の整備に向けた気運も高まっており、円滑な事業進行が期待されている。</p>	
・地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	○
<p>本事業は、「中心市街地活性化基本計画（平成29年3月24日認定）」の核事業に位置づけられており、官民学から構成される中心市街地活性化協議会においても、活性化に不可欠な事業として認識されている。今後は、既存文化施設や周辺商業施設との連携により、この地区を「多世代が交流するにぎわい拠点」として中心市街地の活性化を図っていく。</p>	

# 芸術文化を育むにぎわい交流拠点整備計画 (第2回変更)

あきたけん あきたし  
秋田県・秋田市

平成30年3月

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	芸術文化を育むにぎわい交流拠点整備計画										重点配分対象の該当	○					
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）					交付対象	秋田県、秋田市										
計画の目標	<p>千秋公園周辺地区は、かつては県内で最もにぎわいのある地域であったが、郊外への大型商業施設の進出や宅地開発等により、街のにぎわいが失われており、秋田市中心市街地活性化基本計画では、計画区域の中央部に位置付けている。このため、暮らし・にぎわい再生事業の都市機能まちなか立地支援等により、老朽化した県民会館および市文化会館の機能を集約する「県・市連携文化施設」を本地区に整備し、千秋公園をバックグラウンドとした「芸術文化ゾーン」として、一帯を面的に充実させ、周辺地区を含めた中心市街地のにぎわい創出・活性化を図る。</p>																
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>中心市街地における歩行者・自転車通行量（平日・休日の平均）を32,484人（H28）から35,000人（H33）に増加</li> <li>中心市街地における芸術文化施設利用者数（1日当たり）を966人/日（H27）から1,530人/日（H33）に増加</li> </ul>																
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考				
											当初現況値 (H29当初)	中間目標値 (H31末)	最終目標値 (H33末)				
	中心市街地の11地点の休日および平日における歩行者・自転車通行量を調査する。(①フォンテAKITA前(仲小路側)、②メガネ玉屋前、③ヤマハ秋田店前、④アトリオン前(広小路側)、⑤木内前(広小路堀側)、⑥キャッスルホテル前(仲小路側)、⑦大町公園橋、⑧山下金物店前、⑨ほぼろーど(東口側)、⑩アトリオン前(仲小路側)、⑪市民市場前)										32,484人	－	35,000人	現況値はH28.7月の数値			
	中心市街地の芸術文化施設利用者数を調査する。(①県・市連携文化施設、②県立美術館、③市立千秋美術館、④佐竹史料館)										966人/日	－	1,530人/日	現況値はH27年度の数値(県民会館利用者数を含め算出)			
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	25,417百万円	A	25,392百万円	B	－	C	25百万円	D	－	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.1%					
交付対象事業																	
A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
A-1	住宅	一般	秋田県	直接	秋田県	千秋公園周辺地区暮らし・にぎわい再生事業	にぎわい交流施設整備等 約2.4ha							14,176	1.07	該当なし	
A-2	住宅	一般	秋田市	直接	秋田市	千秋公園周辺地区暮らし・にぎわい再生事業	にぎわい交流施設整備等 約2.4ha	秋田市						10,007	1.07	該当なし	
A-3	住宅	一般	秋田市	直接	秋田市	千秋公園周辺地区暮らし・にぎわい再生事業	にぎわい交流施設整備等 約2.4ha	秋田市						1,209	1.07	該当なし	
合計													25,392				
B 関連社会資本整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H29	H30	H31	H32	H33				
合計													0				
C 効果促進事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H29	H30	H31	H32	H33				
C-1	活動支援	一般	秋田市	直接	秋田市	(仮称)中心市街地芸術文化まなづくり活動支援事業	ワークショップの開催等	秋田市						25			
合計													25				
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考					
C-1	地域の意見を反映し、地域と連携した効果的な中心市街地の再生を推進する。																
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考		
									H26	H27	H28	H29	H30				
合計													0				

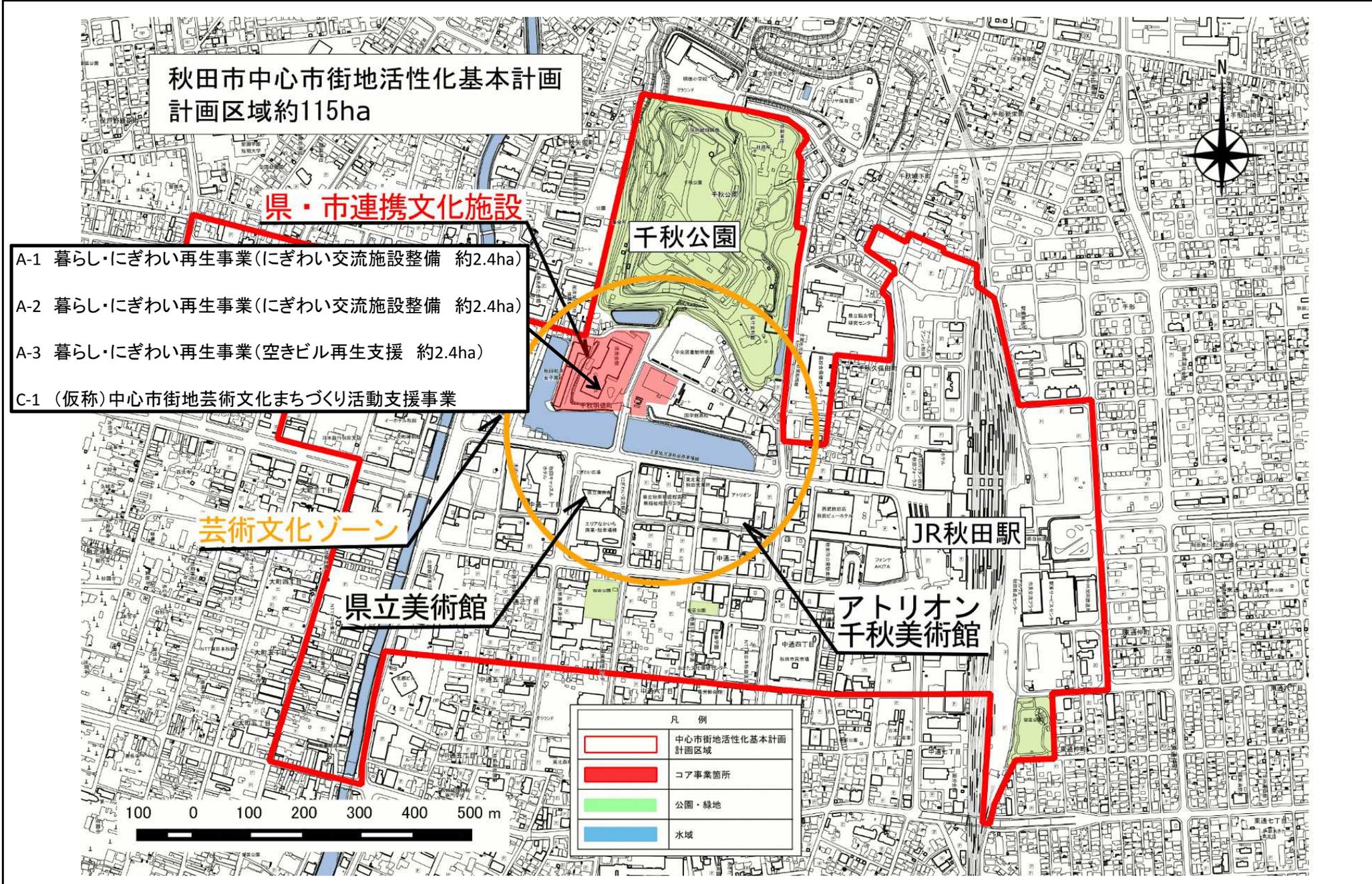
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H29	H30	H31	H32	H33
配分額 (a)	88				
計画別流用 増△減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	88				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	88				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額 (g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越＋不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%				
未契約繰越＋不用率が10%を超えている 場合その理由					

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	芸術文化を育むにぎわい交流拠点整備計画		交付対象	秋田県、秋田市
計画の期間	平成29年度～平成33年度（5年間）			



暮らし・にぎわい再生事業計画

千秋公園周辺地区

平成30年3月26日

秋田県・秋田市

## 1 再生事業計画区域

### (1) 計画区域の位置

秋田県秋田市千秋明德町地内

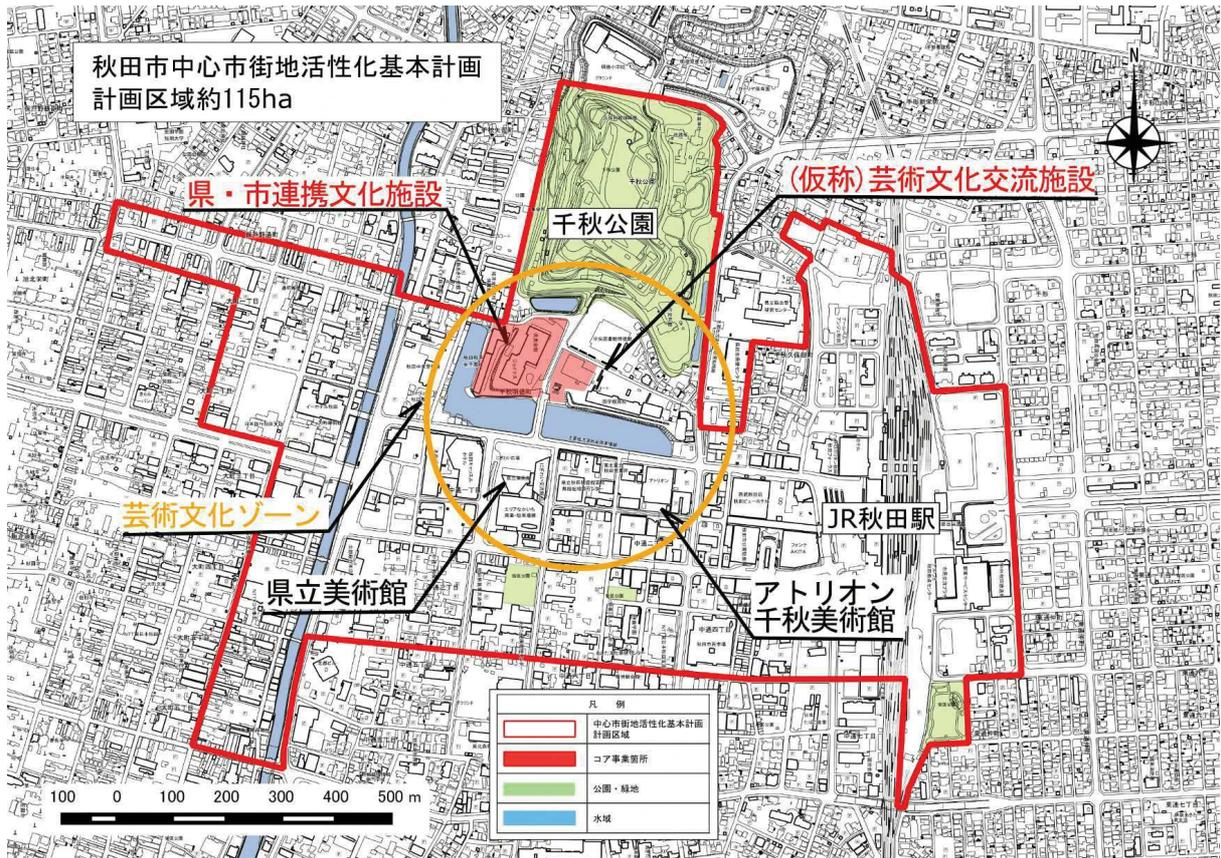
### (2) 計画区域の面積

約2.4ha

### (3) 区域設定の考え方

本地区は、JR秋田駅から600mにある千秋公園（久保田城跡）に隣接し、かつては県内で最もにぎわいのある地域であったが、郊外への大型商業施設の進出や宅地開発等により、街のにぎわいが失われており、秋田市中心市街地活性化基本計画では、計画区域の中央部に位置付けている。

このため、暮らし・にぎわい再生事業の都市機能まちなか立地支援および空きビル再生支援等により、老朽化した県民会館および市文化会館の機能を集約する「県・市連携文化施設」と旧県立美術館を改修する「(仮称)芸術文化交流施設」を本地区に整備し、千秋公園をバックグラウンドとした「芸術文化ゾーン」として、一帯を面的に充実させ、周辺地区を含めた中心市街地のにぎわい創出・活性化を図るため、計画区域を設定した。



## 2 総事業費

約 25,392 百万円

## 3 暮らし・にぎわい再生事業計画区域の整備方針

<p>(1) 再生事業計画区域が抱える課題</p>	<p>本地区は、秋田駅やエリアなかいちにほど近い秋田市の中心市街地に立地しており、にぎわい創出の拠点となる場所である。</p> <p>しかしながら、現状では、県民会館は老朽化が進んでいるほか、舞台が狭く楽屋数も少ないことや、来場者用駐車場が不足していることから、利用者ニーズを満たすことができない施設となっている。</p> <p>また、隣接する旧県立美術館は県立美術館の移転後、利活用が進んでおらず、にぎわい創出の拠点としての機能を十分に果たせていない状況である。</p> <p>こうした現状を受けて、県と市が連携し、県民会館と本地区外にある市文化会館を「県・市連携文化施設」として、一つに集約することは、厳しい財政状況や人口減少の進行を踏まえ、今後のまちづくりのみならず、公共施設の適正配置や効率的な運営管理の観点においても、有効かつ不可欠な事業である。</p>
<p>(2) 再生事業計画区域で整備する予定の都市機能導入施設</p>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 県・市連携文化施設（多目的ホール）</li><li>・（仮称）芸術文化交流施設（展示場等）</li></ul>
<p>(3) 都市機能導入施設の整備効果</p>	<p>・ 県・市連携文化施設は、全県をカバーする県民会館と県都秋田市の文化会館の機能を継承する施設として、県全体の文化の振興・創造のための中核施設として、「文化創造に向けた取組の活発化」、「文化に触れる機会の拡充」を図るほか、文化を核として、人が集う『場』を創出することで地域住民相互の多様な交流を促し、地域の活性化やにぎわいの創出への波及効果が期待される。</p>

・（仮称）芸術文化交流施設は、県・市連携文化施設を含む周辺の既存文化施設と連携することで、中心市街地から千秋公園に至る一帯を「芸術文化ゾーン」として面的に充実させ、市民の文化創造活動の環境づくりにより、中心市街地の一層の魅力向上と活性化を図るものである。

#### 4 都市機能導入施設等の整備概要（全体概要）

##### 【事業概要書】

番号	補助対象施設	補助種別	補助区分	公共施設の種類の種類	事業期間
①	県・市連携文化施設	コア事業 付帯事業	都市機能まちなか 立地支援 関連空間整備	地域交流施設	H29～H33
②	(仮称)芸術文化交流施設	コア事業	空きビル再生支援	地域交流施設	H30～H32

##### 【事業スケジュール】

番号	H29	H30	H31	H32	H33
①	<p>.....</p> <p>基本・実施設計</p>	<p>.....</p> <p>県民会館解体</p>	<p>.....</p>	<p>.....</p> <p>建設工事</p>	<p>.....</p>
②		<p>.....</p> <p>基本・実施設計(予定)</p>	<p>.....</p> <p>改修工事(予定)</p>		

5 整備計画に従って行われる主要な事業の概要

【個別施設概要書】

番号	①	施設名	県・市連携文化施設	事業期間	H29～H33
補助種別		コア事業・付帯事業		補助区分	都市機能まちなか立地支援・関連空間整備
階数		地上6階	構造	耐火構造	
		地下1階			
敷地面積(m <sup>2</sup> )		約17,401m <sup>2</sup>	延床面積(m <sup>2</sup> )	約21,500m <sup>2</sup>	
施設用途(都市機能導入施設の概要)					
地域交流施設(多目的ホール等)					

番号	②	施設名	(仮称)芸術文化交流施設	事業期間	H30～H32
補助種別		コア事業		補助区分	空きビル再生支援
階数		地上3階		構造	耐火構造
敷地面積(m <sup>2</sup> )		約6,800m <sup>2</sup>	延床面積(m <sup>2</sup> )	約2,900m <sup>2</sup>	
施設用途(都市機能導入施設の概要)					
地域交流施設(展示場等)					